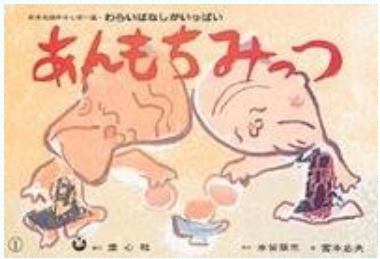
はやしま本だいすきの会会報

令和7年12月号No.2

9月14日（日） 午後2時から かみしばいのじかん

外は暑くて、ぞうさん広場には遊んでいる子供たちは、
ほとんどいませんでしたが
図書館に本を借りに来ている親子に声をかけて始めました。

紙芝居 おおきなおおきなき　せなけいこ作　童心社
紙芝居 あんもちみっつ　水谷章三作　宮本忠夫絵　童心社
紙芝居 不思議なしゃもじ　佐々木悦作　須々木博絵　童心社
絵本 だんごたべたいおつきさま　すとうあさえ作　中谷靖彦絵　ほるぷ出版
工作に「お月見セット」を作るということで、
だんごが出てくるお話を選びました。



工作の材料　トイレットペーパーの芯（花瓶）
茶色画用紙（三方）
薄桃色画用紙（うさぎ）

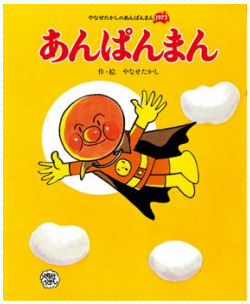
幼児や低学年の子供たちでしたが、
三方の折り紙はみんな上手に作れました。
中に紙粘土で作ったお団子を入れました。

参加者幼児女3名小学生男1名女3名大人4名

担当者　**T.S**　**F.N**

10月12日（日） 午後2時から かみしばいのじかん

ゆるびの舎が とても賑わってる午後。
図書館に来ていたお友達に
声をかけ 次のお話を読みました。
紙芝居「おやゆびたろう」　童心社
絵本 「おおきくなるっていうことは」　童心社
絵本 「アンパンマン」　フレーベル館
紙芝居「お母さんまだかな」　童心社
最初は紙芝居「おやゆびたろう」の日本昔話。
やさしい語りの中で、小さなたろうの冒険のようなお話を、
子どもたちはドキドキわくわく見入っていました。
「おおきくなるっていうことは」は、大きくなることは素敵なこと❣
と教えてくれる絵本。
身近なお話なのでわかりやすく、興味津々！
うんうんとうなづきながら聴いているように見えました。
「アンパンマン」の絵本が始まると、
“あ！アンパンマンだ♪”と声が出て
嬉しそうに聞いていました。
やはり人気ですね(*^^*)
最後に紙芝居「お母さんまだかな」。
次々に動物が登場し、いろんなお土産をくれるあったか～いお話。
どんぐりもいっぱいでてきました。
工作は、そのどんぐりを使って、
ゆらゆらやじろべえと、こまを作りました。
やじろべえは簡単なものですが、バランスを楽しんだり、
こまを回して楽しみました(*^^*)



参加者 幼児2名　小学生4名　大人7名
担当 **I.S ・ R.S ・ K.S**